

目 次

電力通信耐雷設計	電力通信耐雷設計 専門委員会
委員会組織	(1)
第1章 概 説	(5)
1 - 1 はじめに	(5)
1 - 2 報告書の構成	(5)
1 - 3 研究の要約	(5)
1 - 3 - 1 調査無線局の概要	(5)
1 - 3 - 2 雷害のメカニズム	(7)
1 - 3 - 3 耐雷設計の考え方	(9)
1 - 4 雷撃電流値の推定	(10)
1 - 4 - 1 雷サージ電流による誘導電圧からの推定	(11)
1 - 4 - 2 放電電流からの推定(放電モデル)	(11)
1 - 4 - 3 事故率からの推定	(12)
1 - 4 - 4 雷撃電流のまとめ	(12)
第2章 電力通信設備の実態と雷対策	(13)
2 - 1 調査の概要	(13)
2 - 2 無線局の調査結果	(14)
2 - 2 - 1 無線局の年度推移	(14)
2 - 2 - 2 年度別・月別の被害状況	(14)
2 - 2 - 3 標高・I K L別の被害状況	(16)
2 - 2 - 4 被害設備	(17)
2 - 2 - 5 鉄塔位置と建物寸法	(17)
2 - 2 - 6 接地抵抗	(19)
2 - 2 - 7 基礎杭	(20)
2 - 2 - 8 地質	(20)
2 - 2 - 9 地形	(20)
2 - 2 - 10 敷地面積	(21)
2 - 2 - 11 避雷針	(21)
2 - 2 - 12 鉄塔高	(22)
2 - 2 - 13 中継所の電源引き込み線	(22)
2 - 2 - 14 耐雷対策の現状	(22)
2 - 3 被害多発局の実態調査結果	(24)
2 - 3 - 1 開局年度別の被害発生状況	(24)
2 - 3 - 2 被害多発局の設備実態	(24)
2 - 3 - 3 被害多発局の被害状況	(25)
2 - 4 柱上中継器の調査結果	(27)
2 - 4 - 1 柱上中継器の年度推移	(27)

2-4-2 年度別・月別の被害状況	(27)
2-4-3 施設状況別の被害率	(28)
 第3章 施設の耐雷特性	(29)
3-1 雷の性質	(29)
3-1-1 雷現象	(29)
3-1-2 雷雲の発生	(29)
3-1-3 雷雲の構造	(29)
3-1-4 電荷の高さ	(30)
3-1-5 雷放電の種類	(30)
3-1-6 雷撃電流の分布	(30)
3-1-7 雷波形	(30)
3-2 接地	(31)
3-2-1 接地一般	(31)
3-2-2 定常接地抵抗の計算	(34)
3-2-3 建物基礎の接地電極としての代用	(36)
3-2-4 接地線の太さ	(37)
3-2-5 大電流領域における接地抵抗	(38)
3-2-6 接地電極の過渡接地抵抗特性	(39)
3-3 受電施設	(42)
3-3-1 受電施設への雷サージ侵入	(42)
3-3-2 受電方式	(42)
3-3-3 配電線の耐雷対策	(43)
3-3-4 電源用保安装置	(45)
3-4 通信ケーブル	(47)
3-4-1 通信ケーブルの雷サージ現象	(47)
3-4-2 通信ケーブルの誘導サージ低減対策	(49)
3-4-3 ケーブル保安器	(49)
3-5 通信機器	(49)
3-5-1 通信機器の耐雷特性	(49)
3-5-2 通信機器本体の特性	(50)
3-5-3 インターフェース部の特性	(51)
 第4章 山頂中継所および中継所モデルを用いた実測	(52)
4-1 実測の概要	(52)
4-1-1 測定システム	(52)
4-1-2 鉄塔、導波管のサージインピーダンスの測定	(53)
4-2 鉄塔地上型山頂中継所	(53)
4-2-1 中継所の概要	(53)
4-2-2 測定結果	(55)
4-3 鉄塔屋上型山頂中継所	(57)
4-3-1 中継所の概要	(57)
4-3-2 測定結果	(59)
4-4 中継所モデル	(61)
4-4-1 モデルの概要	(61)

4-4-2 測定結果	(62)
4-5 受電系統のサージ電圧測定	(67)
4-5-1 地上型のサージ電圧	(67)
4-5-2 屋上型のサージ電圧	(70)
4-5-3 屋上型モデルのサージ電圧	(71)
 第5章 シミュレーション	(74)
5-1 はじめに	(74)
5-2 シミュレーションモデルの導出	(74)
5-3 シミュレーションモデルと実測結果との照合	(77)
5-3-1 鉄塔地上型中継所の実測とシミュレーション結果	(78)
5-3-2 鉄塔屋上型中継所の実測とシミュレーション結果	(79)
5-4 耐雷設計の検討	(81)
5-4-1 耐雷設計の評価基本モデルを用いた検討	(81)
5-4-2 中継所導波管の接地位置の影響	(82)
5-4-3 鉄塔地上型中継所での検討	(85)
5-4-4 鉄塔屋上型中継所での検討	(89)
5-4-5 鉄塔落雷時の配電系接地との関連	(93)
5-5 シミュレーション結果から見た雷害の様相と耐雷設計	(98)
 第6章 耐雷設計	(99)
6-1 耐雷設計の概要	(99)
6-1-1 サージ電流経路と被害の関係	(99)
6-1-2 耐雷設計の基本事項	(99)
6-2 接地設計	(100)
6-2-1 接地設計に当って	(100)
6-2-2 大地抵抗率の測定	(102)
6-2-3 鉄塔・局舎接地設計	(102)
6-2-4 敷地内接地設計	(104)
6-3 受電施設の耐雷対策	(105)
6-3-1 配電施設の耐雷対策	(105)
6-3-2 各種受電方式の耐雷対策	(106)
6-4 局舎建物施設の耐雷対策	(108)
6-4-1 電磁遮蔽構造体の形成	(108)
6-4-2 空中線施設の耐雷対策	(110)
6-4-3 通信ケーブルの耐雷対策(3-4-2 参照)	(112)
6-5 局舎建物内の耐雷対策	(112)
6-5-1 環状接地母線の構成	(112)
6-5-2 通信機器・電源機器の接地構成	(114)
6-5-3 機器配置対策	(115)
6-5-4 機器の耐雷対策	(115)
6-5-5 機器間配線対策	(117)
6-6 その他施設の耐雷対策	(118)
6-7 耐雷対策のまとめ	(119)

第7章 むすび	(120)
7-1 調査研究の考え方のまとめ	(120)
7-2 耐雷対策の考え方のまとめ	(121)
7-3 今後の課題	(122)
7-4 おわりに	(122)
付録1-1 雷サージ電流による誘導電圧の推定	(123)
付録2-1 アンケート結果一覧表	(130)
付録3-1 接地の測定法	(140)
付録3-2 代表的な接地電極の接地抵抗計算例	(143)
付録3-3 複数本の埋設地線の接地抵抗計算式	(144)
付録3-4 集合係数 γ の値	(145)
付録3-5 インパルス電流による誘導測定の結果	(146)
付録3-6 誘導雷サージ電圧の予測式	(148)
付録3-7 通信ケーブル遮蔽層の接地方法による誘導電圧の計算	(149)
付録3-8 デジタルマイクロ無線機の耐圧特性	(150)
付録3-9 ケーブル端子類の耐圧特性	(152)
付録4-1 地上型山頂中継所の詳細図	(154)
付録4-2 屋上型山頂中継所の詳細図	(157)
付録4-3 中継所モデルの詳細図	(160)
付録4-4 中継所モデルのサージ電圧測定結果	(161)
付録5-1 配電線への落雷により生じるサージ電圧波形の計算	(172)
付録5-2 外周導体と内部導体の結合率	(173)
付録5-3 二本の平行導体間の相互インダクタンス	(175)
付録6-1 国際電気標準会議で審議中の被雷保護システム規格の概念	(177)